

へんしも情報

組合等活性化情報誌

9

2023 vol.269

Contents

- 1 おらんくの組合(土佐信用組合)
- 3 インボイス対応IT導入補助金要件緩和のお知らせ
- 4 中央会青年部情報“雄飛” 青年部まつり開催
- 5 インドネシア人材視察報告
- 7 特集“BCP策定のススメ”(株)企業維新 安岡和孝氏
- 9 BCP・事業継続力強化計画策定事例のご紹介
- 10 中小企業組合検定試験のお知らせ
- 11 組合いんふおめーしょん
中央会ホームページでもへんしも情報が読めます
- 12 地域おこし協力隊レポート《香南市》
- 13 県内各業界動向(2023年7月)

人を^{つな}ぎ、組織を育む 高知県中小企業団体中央会
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp



土佐信用組合

今月の組合



土佐信用組合
代表理事 横山 英生 氏

<組合プロフィール>
所在地:土佐市高岡町甲2137番地1
TEL:088-852-1211
設立:昭和28年4月
組合員数:6,013名
主な事業:金融事業
ホームページ:
<http://www.tosa.shinkumi.jp/>



人々の幸福を願い 豊かで健全な家庭と企業づくり 活力ある地域づくりに貢献する。

信用組合は地域との繋がりを 大切にする金融機関です

当組合は昭和28年に設立された組合業態の金融機関です。金融機関という点から銀行を思い浮かべる方も多いと思いますが、金融機関は他にも信用金庫、労働金庫、農協などの業態があり、信用組合もその一つです。信用組合と銀行では業態は異なりますが、取り扱う金融商品やサービスにそれほど大きな違いはありません。それでは何が異なるかというと、経営目的が異なります。

銀行は株式会社であり原則的に営利追及を目的としています。一方で信用組合は地元の中小企業や住民の皆様が組合員となり、相互扶助の精神で地域全体の発展を図ることを目的としています。このため利益を必ずしも目的とは定めておらず、地域社会との共生を念頭に置きながら組合員のニーズに沿った金融商品・サービスを提供することを最優先としています。もちろん金

融機関である以上は毎年利益を計上し経営の安全性を高めることも必要ですが、まずは地域の利益を考え、金融事業以外にも社会貢献活動などに積極的に取り組むなど、地域との繋がりを大切にしています。おかげさまで設立当初350名であった組合員数は現在6千名を超え、コロナ禍であったここ数年間も当期純利益を計上することができています。

組合の事業活動について

新型コロナウイルス感染症が今年5月に5類に移行し、今後は徐々に景気が上向くことが期待されますが、物価高騰や人手不足の影響もあり経済が安定するにはもう少し時間を要するかと思います。組合員にとってもコロナの影響は大きく、組合の貸出金残高はコロナ禍前(平成31年度)の22億円から、令和2年度には27億円に急増しました。当組合は個人組合員への住宅ローンの貸出が多く、また新型コロナに対

応したいいわゆる「ゼロゼロ融資」を受けた方もおられることから、先行きが見通しにくい状況ではありますが引き続き渉外業務などを通じてお客様の資金ニーズを探り、融資や借り換えなども含めて適切に対応していきたいと考えています。

一方で、預金についても多くの組合員に利用いただけるよう、定期預金の金利優遇キャンペーンを実施したり、定期預金契約者などへ福引抽選券をお渡ししています。



▲大国様福引大会

福引抽選券は年1回開催する「土佐信用組合大会」の中の“大国様福引大会”で使用でき、毎年多くの皆様に参加いただいています。また土佐信用組合大会ではほかにも講演会やチャリティーバザーを併せて開催しており、コロナ禍前は毎回1千名を超えるお客様に来ていただきましたが、近年はコロナ禍のため開催できない状況が続いています。今年も福引大会以外のイベントは断念せざるを得ず、来年以降の取組みについては今後の検討事項です。

預金に関しては昭和39年より「母の貯蓄運動」と銘打って、家計を担うお母様方を対象とした貯蓄運動も展開しています。

また金融事業以外の活動としては、毎年9月初旬の「しんくみの日」に行う献血活動や小学生の職場見学の受け入れ、地域イベントである「大綱まつり」や「宇佐大鍋まつり」などにも参加しながら、交流を図っています。

社会貢献活動にも力を入れています

このほか近年の取組みとしては、地域の見守り活動などに関する協定を土佐市社会福祉協議会や土佐警察署と締結したり、厚生労働省等が推奨する「認知症サポーター養成講座」を受講するなど社会貢献活動により力を入れています。これはある職員からの提案がきっかけでした。

職員は渉外業務で日々地域を巡回しているのですが、稀に“普段見る人を見かけない”などの違和感を持つ時がありました。これまでは単なる留守のケースなど特に問題はなかったのですが、地域の高齢化が進む中で今後は体調不良などのケースも発生するのではないかと考えた職員から、業務中に支援を求められた場合や訪問先で異変を発見した場合にどのような対応が取れるかの相談があり、検討を進めました。その中で社会福祉協議会に相談を行ったところ、地域の見守り活動などについて提案を受け、令和3年10月に土佐市社会福祉協議会と、また令和5年1月には土佐警察署と協定を結んだところです。加えて令和4年1月には「認知症サポーター養成



▲土佐警察署との調印式

講座」を受講し、職員全員が認知症サポーターとなりました。

こうした活動が職員の提案から始まったことは非常に心強く、誇りに思っています。

組合の強みは、地域密着で培った顧客からの信用力

当組合は設立以来、地域に根ざし、地域社会の発展と地域住民の生活向上に貢献する金融機関として、組合員から信頼される健全な経営体制の維持向上に努めてきました。他の金融機関が業務効率化を進める中、当組合は渉外係が集金訪問し、預金や融資の相談はもとより、それ以外の相談事や世間話にもとことん付き合う地道な活動を続けており、それが設立以来伸びている預金残高や組合員数、また健全経営に結びついていると考えています。他には真似出来ない徹底した地元密着で培った顧客からの信用力が当組合の一番の強みであり、これからもこの強みを活かした活動を続けていきたいと考えています。

マネープランのご相談はお任せください



日々の暮らしの中でお金に関する悩みは大きなウェイトを占めますが、なかなか他の人には相談しにくいのが実情です。

当組合では、店舗窓口や渉外業務でお客様のお金に関するお困りごとをお受けしています。貯蓄、資金運用、融資、借り換え、将来に備えた資金計画などについて、お客様の今後のライフイベントや社会情勢なども考慮しながらオーダーメイドでプランを提案します。

まずはお気軽にご相談ください。

高知県

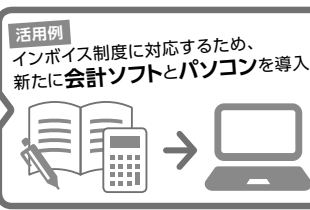
インボイス対応IT導入補助金

要件
緩和

補助金イメージ

IT導入補助金と
インボイス対応IT導入補助金の併用で

実質の自己負担は1割ほどに!



今回、要件を大幅に緩和しました! ※下記の内容以外はこれまで同様となります

補助要件の緩和

旧

1. 令和4年11月30日以降に申請の締切を迎える国のIT導入補助金デジタル化基盤導入枠(デジタル化基盤導入類型)を活用していること。
2. 令和4年11月30日以降にインボイス発行事業者の登録申請を行い、県補助金の実績報告までにインボイス発行事業者登録が完了していること。

撤廃

新

1. 国のIT導入補助金デジタル化基盤導入枠(デジタル化基盤導入類型)(令和4年3月31日~)を活用していること。
2. 県補助金の実績報告までにインボイス発行事業者登録が完了していること。

補助対象経費の拡充

旧

- ・ソフトウェア
- ・クラウド利用費(令和6年2月29日まで)
- ・導入関連費
- ・ハードウェア購入費(パソコン、タブレット、レジ、券売機、等)

新

- ・ソフトウェア
- ・クラウド利用費(最大2年分)
- ・導入関連費
- ・ハードウェア購入費(パソコン、タブレット、レジ、券売機、等)

拡充

インボイス・電帳法対策
効率化とコスト削減のための

IT導入相談会

参加費 無料

日時 令和5年 9月11日(月) 14:00 ~ 17:00
※会場内は自由にご覧いただけます

場所 高知商工会館(高知市本町1-6-24)
3F松竹梅の間

お問い合わせ先

高知県中小企業団体中央会
高知県インボイス対応IT導入補助金事務局

TEL 088-845-2512
(8:30~17:00 土日祝除く)

E-mail invoice-it@kbiz.or.jp

- メリット1 通常の定期預金より 高めの金利設定
※当金庫内比較
- メリット2 固定金利の半年複利で 効率よく資産運用
- メリット3 ライフスタイルに合わせて 選べる期間1年・2年・3年
※原則として満期日前の解約はできません。

個人のお客さま向けの

定期預金

マイハーベスト

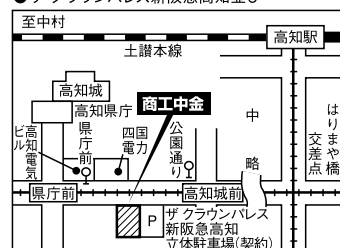
※詳しくは、店頭チラシまたはホームページをご覧ください。

商工中金

高知支店 088(822)4481

〒780-0870 高知市本町4-2-46

●ザ グラウンパレス新阪急高知並び



第26回 青年部まつりを開催

—高知県中小企業青年中央会—

青年中央会の夏の恒例事業である組合青年部まつりを、去る7月29日(土)午後4時から午後8時まで高知市帯屋町1丁目・2丁目商店街内で開催しました。

本イベントは、会員青年部及び青年部員間交流の促進、また地域社会への貢献を図ることを目的として、協同組合帯屋町筋主催の土曜夜市内に青年中央会で出店ブースを構え、会員青年部が出店することにより実施しているものです。

当日は土曜夜市開催の最終日ということもあり、会場は多くの家族連れなどで賑わう中、9青年部、総勢95名の青年部員が参加し、それぞれ趣向を凝らしたゲームや青年部PR活動等に汗を流しました。

出店青年部名(順不同)	出店内容
高知中央電気工業協同組合青年部・ 高知県香長地区電気工業協同組合青年部会(合同出店)	花火くじ引き販売、スーパーボールすくい、 電流イライラ棒、シーグラス作製 等
高知県中古自動車販売商工組合青年部会	スーパーボールすくい
(一社)高知ビルメンテナンス協会青年部会	ゲーム等
高知県印刷工業組合青年会	余り紙・端切れの販売、オリジナルリングノート体験
高知県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部	ルーレットダーツ
高知市管工事設備業協同組合青年部委員会	ゴルフボールミニボウリング
高知県板金工業組合青年部	銅板折鶴加工実演販売
高知県室内装飾事業協同組合青年部	カーテン生地販売、らくがきスペース カタログ展示、ワークショップ



高知中央電気工業協同組合青年部・
高知県香長地区電気工業協同組合青年部会(合同出店)



高知県中古自動車販売商工組合青年部会



(一社)高知ビルメンテナンス協会青年部会



高知県印刷工業組合青年会



高知県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部



高知市管工事設備業協同組合青年部委員会



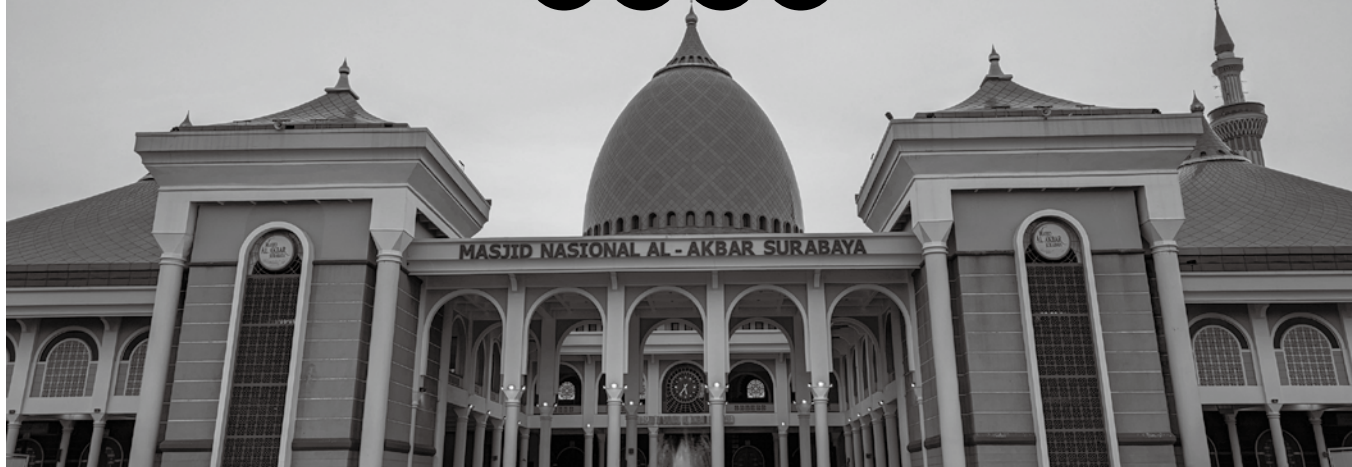
高知県板金工業組合青年部



高知県室内装飾事業協同組合青年部

インドネシア人材視察

★★★★★★★★★★★★★★ 2023 ★★★★★★★★★★★★★★



本会では、インドネシア人材のニーズが急増するなか、高知市とスラバヤ市の自治体間の友好交流を背景にした関係構築を目指しており、監理団体及び県内事業者など総勢11人で、7月14日(金)~7月19日(水)の6日間の日程で視察・交流を行いました。視察では、日本国総領事館や送出機関・日本語学校の訪問や、高知市と友好姉妹都市であるスラバヤ市主催のスラバヤよさこい祭りの観覧などを行いました。

在スラバヤ日本国総領事館

在スラバヤ日本国総領事館を訪問し、竹山健一総領事より東ジャワ州及びスラバヤ市の概況や人材の特徴などについて説明をしていただき、人材交流等について意見交換を行いました。スラバヤ市は戦前から日本人学校があるなど、

日本との関係が古く、州内にも多数の大学に日本語学科があるなど、日本になじみがあると説明があり、竹山総領事から、「日本とインドネシアは文化が似ていて、一緒に働いたり暮らしていくことに対し違和感がないと思う。東ジャワ州政府

は、海外への人材送出しを積極的に進めているので、今回の訪問をきっかけに、スラバヤ市を中心とした東ジャワ州との人材交流を活発化していただきたい。総領事館としてもサポートしていく」との心強いお言葉をいただきました。

スラバヤ市の送出機関との名刺交換会

県内監理団体と事業者が、インドネシア人材受入の契機としてもらうため、スラバヤ市の送出機関3機関と名刺・意見交換会を行いました。3機関とも日本を専門とした送出機関で、介護分野や農業・製造業等、様々な分野で送出し実績があり、現在も多くの学生が日本での技能実習に向けて日本語の学習に励んでいるとのことでした。



スラバヤ市

インドネシア第2の都市であり、ジャワ島の東部にある東ジャワ州の州都。高知市とほぼ同じ面積に8倍以上の300万人余りが暮らしています。

気候は熱帯雨林気候で、年平均気温は27度です。産業は、サトウキビなどの農業のほか、海外向けに

エビの養殖や、合板・木製品の生産が盛んです。

高知市と1997年に姉妹都市提携を締結しており、2003年より「スラバヤよさこい祭り」が開催されています。また国内第2の国際貿易港であるタンジュン・ペラ港があり、同港は高知港と友好提携港です。



スラバヤ市庁舎・スラバヤよさこい祭り

高知市と姉妹都市のスラバヤ市が主催する、「スラバヤよさこい祭り」がスラバヤ市庁舎前広場で4年ぶりに開催され、高知市訪問団と合流し観覧しました。



▲スラバヤ市長(右から2人目)、竹山総領事(右端)

祭りでは、地元小学生ら22チーム、500人あまりが参加し、よさこい正調の総踊りなどが披露され、なじみのあるよさこい節がスラバヤの街に鳴り響きました。

また、「スラバヤ市友好姉妹都市25周年記念祝賀会」に招かれスラバヤ市長と懇談後、スラバヤ市官房長官及び、労働・開発関係者と人材についての意見交換を行いました。官房長官から、「市長は政策として失業率の改善を目指している。人材の送出しにも力を入れており、これ



からは文化交流だけでなく、人材交流を推進したい。スラバヤ市としても人材の確保・教育・送出しに協力していきたい」と述べられ、今後高知県・スラバヤ市双方にとってWIN-WINの関係を築いていくことを約束しました。

東ジャワ州マラン市送出機関・日本語学校

スラバヤ市の郊外に位置するマラン市の日本語研修センターを訪れ、日本語を勉強している様子や寮などの見学を行いました。当センターでは、日本人の日本語教師が

在籍し、学生個人の能力に合わせた指導が行われており、介護・食品製造・建設等の分野・レベルごとに細かくクラス分けがされ、約140人が熱心に勉強を行っていました。



西ジャワ州デポック市送出機関・日本語学校



インドネシアの首都ジャカルタから1時間ほどの郊外に位置するデポック市の送出機関・日本語学校の視察を行いました。現在180人ほどが日本を目指し、日本語や様々な技術研修などを受けており、質の高い教育が行われていました。

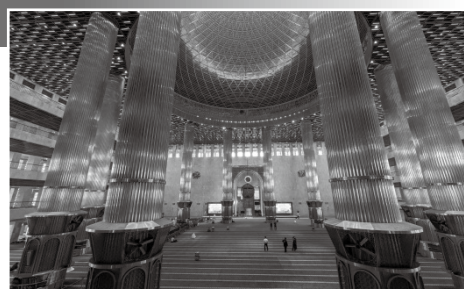
当校の幹部は、技能実習生として高知などで実習経験があり、日本での実体験

をもとにしたカリキュラム作りがされており、日本語教育や体力づくりのほか、職種ごとの実技研修など、企業のニーズに合わせた人材育成を行っていました。また、日本からの求人票の説明にも力を入れており、待遇や職種・地域の特性などをきちんと説明し、ミスマッチを無くす工夫もなされていました。

モスク・ハラル展示会

インドネシアにおける、イスラム教信仰の現状を知るために、モスク(イスラム教の教会)及び、ハラル展示会の視察を行いました。モスクでは多くの人が集まり、手足や顔を洗った後、礼拝堂でお祈りをしていました。

インドネシアのイスラム教は中東地域と比べ厳格ではありませんが、人材を受け入れる際には、インドネシア人材の信仰を尊重し、お祈りの時間や場所の確保、食事への配慮等の必要性を感じることができました。



▲12万人を収容できるモスク・イスティクラル



今回の視察では、インドネシアの日本への人材送出しのニーズの高さや、人材の優秀さを認識することができました。今年度も中央会では海外視察などを通じて、優秀な人材の確保や技術交流・海外展開など、皆様のニーズに沿った支援を行ってまいります。

01 はじめに

南海トラフ巨大地震が、今後30年以内に70～80%の確率で発生すると推定されており、その経済損失は、数百兆円から千兆円以上になると見込まれている。

また、2020年3月頃から蔓延したコロナ感染症のパンデミックによる世界的な経済活動への大ダメージのように、感染症の蔓延による経済活動への打撃は計り知れない。

事業経営において、こうしたリスクに備え、万が一リスクが発生した場合も、取引先との取引、雇用等、事業を継続し、社会的責任を果たすことが求められている。



株式会社企業維新 代表取締役 安岡和孝氏
(中小機構 事業継続力強化計画普及・策定支援アドバイザー)

02 事業継続計画の策定の重要性

国で定めている防災基本計画において、国民の防災活動を促進するため「企業防災の促進」を掲げており、企業に対し災害時に重要業務を継続、早期再開するため「事業継続計画(BCP)」の策定、運用の努力が求められている。

しかしながら、本質的に、BCPがなぜ必要なのかという理由は次のとおりである。中小企業は、事業をとりまく環境の変化も目まぐるしく、平時から様々な取引先や顧客からのニーズに迅速に対応することが求められている。

災害が発生したとしても、顧客からは平

時と同様の対応を求められる。そのための課題として、例えば、次のような内容があげられる。

- ・被災による経営資源へのダメージから、平時よりも大幅なパワーダウンが見込まれること
- ・自社の課題(資金不足、人手不足等)が明確となること
- ・経営者が被災した場合、迅速な経営判断をどう行っていくか、など。

こうした課題を持ちつつ、災害等に対応するため、「被災の状況」、「不足する経営資源の把握」、「実施すべき行動とスケジュール」を速やかに把握し、顧客のニーズを満すことが必要となる。

災害時にこうした対応を行えるよう、何が起こりうるかを想定し、その際何をするかを計画として定め、実際に計画が実行できるよう訓練を行う等、備える必要がある。

これが、BCPの本質であり、策定の重要性を示すものである。

BCPは被災後において事業を継続するための経営戦略である。

03 事業継続計画の策定の実際

しかし、現状、BCPの策定が重要であるにもかかわらず、「スキル・ノウハウがない」、「時間がない」という理由で進まないケースが少なくない。

2019年、中小企業強靱化法の施行に

より、中小企業の防災、減災を促す事業継続力強化計画(通称:ジギョケイ)を、事業者が策定して国が認定する制度が設けられた。

BCPが事業を守るための総合的防災

対応を定める計画とすると、ジギョケイは防災対応の第1歩の計画ととらえることができ、BCPの簡易版的なものであり、初めて策定する場合に取り組みやすい。

(参考資料) ・BCPの必要性・効果・策定方法をわかりやすく解説(中小企業庁)
・J-net21「BCP策定のメリットと留意点は何か?」
・地震調査研究推進本部のサイト:jishin.go.jp

・内閣府防災情報のページ:bousai.go.jp
・南海トラフ巨大地震の被害想定について(内閣府政策統括官(防災担当))

04 BCP策定の内容

BCP、ジギョケイで策定する内容は、おおよそ右の図のとおりである。

ジギョケイでは、「自然災害リスクの認識」「発災時の初動対応の手順（安否確認、避難方法等）」「減災、防災に向けた事前対策（人員確保、建物・設備の保護、資金繰り対策、情報保護）」「計画実行性確保の取組（訓練、計画見直し等）」を定め、BCPでは、「重要業務の特定」「復旧する目標時間の設定」が特に重視され、様々な分析を通じて、計画を組み上げていく。

内容に違いはあるが、ジギョケイもBCPも目指す姿は「事業継続力の獲得と向上」であり、同じである。

事前対策に関する国の法制度（①事業継続力強化計画）

■「事業継続力強化計画」とは？

事業継続力の獲得と向上（目指す姿）

- ①自然災害等の脅威発生時の甚大被害発生確率減少
- ②被害発生時の迅速な対応行動の実現
- ③甚大被害発生時にも復旧可能な財務体質や支援体制の確保
- ④現実的な継続的改善のプロセスの定着

事業継続計画（BCP）

- ①重要業務と目標復旧時間の決定（ただし必要に応じて）
- ②事業継続戦略（復旧・代替・お互い様など）
- ③業務復旧・再開対応体制と再開プロセスの明確化
- ④継続的改善プロセスの明確化と訓練計画策定

事業継続力強化計画（認定対象）

- ①事業継続力強化の必要性の認識
- ②脅威と発生時の被害発生認識
- ③必要な事前対策（防災＋事業継続、訓練の実施を含む）の抽出と実施計画策定
- ④初動対応体制と行動プロセスの明確化（人命安全確保～被害状況把握～顧客報告）

対策の実施と訓練による改善

（出典：平成30年度中小企業等強靱化対策事業「指導人材向け研修会」テキスト）

05 BCP策定のメリット

BCPを策定するメリットは大きく2つある。

1つ目は、緊急事態発生時に早期復旧に速やかに対応できることである。

計画策定の過程で自社の業務フロー、想定リスク等を明らかにできる。あらかじめ緊急時の行動計画を講じることで、被害を最小限に抑えられる。また、想定外の緊急事態が発生した場合でも、自社のリスク把握によって、臨機応変に対処できる。

さらに、被災時の損害を減らすために、日ごろからの「社内レイアウト、動線の見直しなど、設備の配置、機能改善」「会社内外の経営資源の見直し」に取り組むこと、事業の早期復旧のため被災時に優先すべき事業を明確するため、「重要業務の見直し」により、業務の改善にもつなげることが可能となる。

2つ目は、対外的、特に取引先からの信頼

が高まることである。

中小企業がBCPを策定することが大事な顧客の事業中断リスクを減らし、その信頼度の向上や競争力の強化、また企業として社会的責任を果たすことにもつながる。

ジギョケイで国の認定を得られれば、計画の内容の実行に対して、金融支援（低利融資、信用保証枠の拡大等）、税制措置（防災・減災設備）を活用することができるほか、補助金（ものづくり補助金等）の優先採択、「中小企業庁HPでの認定を受けた企業の公表」「認定企業に活用いただけるロゴマークの使用」といった企業への信頼性の向上につながる支援策も活用可能となる。



（認定ロゴマーク）



（出典：中小企業庁「中小企業BCP支援ガイドブック」）

06 最後に

近年SDGsが注目を集めている。自社の災害によるリスクを見直し、その対策を検討するBCPの策定、運用は、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」や、目標13「気候変動に具体的な対策を」などにつながる取組である。SDGsに向けて、何か取り組みを検討されている事業者は、BCPの策定、運用は事業の継

続に不可欠なものであり、検討すべきと考える。

中小機構では、無料で策定のアドバイザリー派遣を行っており、策定を確実に実行できる制度もある。また、中央会においても、組合向けにセミナーの開催や、組合担当者が計画策定を支援しており、そうしたサポートを生かして、ぜひとも策定を

進めていただきたい。

いつ発生してもおかしくない南海トラフ巨大地震、感染症等のリスクに備えて、事業者の皆さまが被害を最小限に抑え早期復旧、事業継続することはもちろんのこと、災害復興において地域に大いに貢献できるよう、BCPの策定、運用に取り組むことを切に願ってやまない。

本会では、南海トラフ地震など自然災害をはじめ、新型コロナウイルス感染症拡大といった事業を脅かすリスクに備える防災・減災の啓発と、早期復旧のための事業継続計画(Business Continuity Plan)の策定が重要と考えています。

特に湾岸エリアに隣接する事業所や、共同事業用の施設設置、一般消費者も利用する公共的施設の運営、電気・ガス・水道といったライフラインを担う事業者で組織する中小企業組合では、傘下の組合員と連携して災害等への対策を講じ、早期の事業復旧を図ることが求められることから、組合等を対象とした「事業継続計画」等の策定を促進してきました。その中で、組合における策定の取り組み事例をご紹介します。



▲中央会の促進セミナー

ケース1 四万十市商業協同組合

地域密着型の商業施設として、利用者の安全と早期営業再開を目指すためのBCP策定(2022.10.21策定)

●取り組みの支援内容

高知県が参考様式として示すBCP策定資料を基に、本会・東京海上日動火災保険(株)・組合事務局で協議(計5回)しながらBCPを作成した。

の被害、早期復旧に必要となる事項の洗い出しとボトルネックを整理した。

また、一時避難所の協定を市役所と締結しており、避難所としての対応をはじめ、非常用自家発電設備はあるが十分では無いことから、電力復旧までの電源の確保を課題として認識することができた。

も中核テナントの店内商品を組合に供給することを協議し、テナントを巻き込んだ連携に繋がった。今後、テナント各店はもとより、地区町内会、市役所との共有・連携を図りながら、より実効性を高めた計画となるよう見直しもしていく。

●策定の概要・効果

当組合における南海トラフ地震発災後

避難者に提供する非常食備蓄に関して

ケース2 高知県中古自動車販売商工組合

社会貢献を目指し、発災後の道路啓かい協定を視野に事業継続力強化計画認定を取得(2023.2.13認定)

●取り組みの支援内容

本会の促進・策定セミナー(計5回)への参加を機に、本会と専門家のフォローを受けて事業継続力強化計画を作成した。その後、組合員への策定内容の周知・共有とともに、計画策定を組合員にも促すセミナーを開催した。

よる被害、早期復旧に必要となる事項の洗い出しとボトルネックを整理した。

具体的には発災後の幹線道路の啓かいに係る協定を自治体と締結することも視野に入れ、そのために必要な体制づくりを意識し、課題の整理やその対応を検討した。特に、発災後に組合事務局において相当の被害が見込まれることから、耐震補強対策(什器転倒・ガラス飛散防止)をはじめ、テ

レワークのためのクラウド導入や事務所移転も視野に入れた検討ができた。組合で策定した内容を参考に、組合員の策定の取り組みにも繋がっている。

●策定の概要・効果

当組合における南海トラフ地震の発災に



▲組合員への啓発セミナー

ケース3 土佐プロパン販売協業組合

使命を果たすために、外部関係者と共有した事業継続力強化計画認定を取得(2023.3.13認定)

●取り組みの支援内容

本会の促進・策定セミナー(計5回)への参加を機に、本会と専門家のフォローを受けて事業継続力強化計画を作成した。被災時の課題(電源確保、重要情報の保護など)対策や外部関係者と策定した内容を共有した。

当組合における南海トラフ地震及び集中豪雨の発災による被害、早期復旧に必要となる事項の洗い出しとボトルネックを整理した。

特に避難所へのプロパンガス供給について市役所と協定を締結していることから、減災対策を検討して備えるとともに、復旧活動に関わる市役所防災対策セクションを

はじめ、資金調達先のメインバンクや保険会社と策定内容を共有することで、実効性を高めた計画を作成することができた。



▲セミナーでの策定作業の様子

●策定の概要・効果

本会では、組合・組合員を対象としたBCPの重要性と策定ポイントを学ぶ講習会開催や、業種・ロケーションを踏まえ組合員との連携なども盛り込む計画策定を専門家とサポートします！お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

高知県中小企業団体中央会 連携推進部

(担当:古谷) TEL:088-845-8870





中小企業組合検定試験のご案内

本年度よりネットでの申込みとなります。
詳細、申込みは下記の二次元バーコードよりお願いします。

チャレンジ！

検定試験を受けて組合士になろう!!

令和5年度

中小企業組合検定試験

12/3
SUN

受験申込

令和5年度中小企業組合検定試験
受験申込サイトから
お申込みください。

二次元バーコード



受験資格

特になし（ただし、組合士として認定されるには組合等での3年以上の実務経験が必要です）。

試験科目

組合会計 組合制度 組合運営

試験日

令和5年12月3日（日）

試験地

札幌・青森・仙台・秋田・郡山・水戸・東京・長野・静岡・名古屋・神戸・松江・広島・山口・高松・福岡・大分・宮崎・浦添

願書受付期間

令和5年9月1日（金）～10月20日（金）

受験料（税込）

6,600円 ※一部科目免除者については、5,500円（二科目受験）、4,400円（一科目受験）。

お問い合わせ先

お申し込み方法など詳しいことは、最寄りの都道府県中小企業団体中央会または
全国中小企業団体中央会（TEL.03-3523-4907）までお問い合わせ下さい。

組合士

検索

主催／ 全国中小企業団体中央会

後援／中小企業庁

協力／都道府県中小企業団体中央会

安心のゴールキーパーでありたい。

MS&AD 三井住友海上



クルマの保険



すまいの保険



ケガの保険



組合いんふおめーしょん

掲載
無料

組合いんふおめーしょんのコーナーを、組合活動のPR、イベント、新商品のご紹介などの告知にぜひご利用ください。
◎中央会までどしどし情報をお寄せください!!

高知おまち学園が商店街に出店!!



高知県商店街振興組合連合会

高知県商店街振興組合連合会(廣末幸彦理事長)では、高知の街を元気にするための取り組みとして、青年部員を中心とした商店街メンバーと中高校生のコラボによる「高知おまち学園」の運営を行っています。

本年度は、7月22日(土)に高知市中心商店街内で開かれた土曜夜市で「ヨーヨー釣りゲーム」を新京橋商店街アーケードにて実施しました。また8月15日(火)に、はりまや橋商店街と学生活動交流館において、学生さんたちによるグループ「ゑん」とのコラボにより、土佐手すき和紙製品の展示や製造の体験サービスを行いました。

これらの出店は、いずれも、商店街からの協力やアドバイスのもと実現したものであり、企画から準備、

当日の設営に至るまで生徒が中心となりブースの運営を行い、大勢のお客様に楽しんでいただきました。

なお、当学園では独自の企画として、11月にははりまや橋商店街を舞台に、着物をアレンジした「SDGsファッションショー」の開催を予定しているほか、「龍馬生誕祭」や「大おかみさん市」等、商店街の各種イベントへ積極的に出店していく予定です。

今後の「高知おまち学園」の活動にぜひご注目ください!



▲7月22日 ヨーヨー釣りゲーム



▲8月15日 土佐和紙の手すき体験

高知県中央会HPでも「へんしも情報」が読めます!



スマホ
でも

組合員への共有も、URLや
二次元バーコードを送るだけで楽々!



PC
でも



バックナンバーも掲載!

(二次元バーコード)

▼HPからのチェックはこちらから
<https://www.kbiz.or.jp/henshimo>

【高知県中央会ホームページ】にアクセス、
【中央会情報誌「へんしも情報」】の
バナーからご覧になれます!



お客さまの
笑顔の花を
咲かせるしごとです。

お金のこと、経営のことのほかにも、デジタル化の
推進や事業承継など、さまざまな経営課題に対して
その道のプロフェッショナルが解決策を提案します。
信用保証協会では、経営の「今」を全力でサポート
します。

高知県信用保証協会

〒780-0901 高知市上町3丁目13番14号
TEL 088-832-3261 FAX 088-822-7069
URL <http://www.kochi-cgc.or.jp/>

.com
BANK

あなたと未来を創る

金融機関から「金融サービス企業」へ...
真にお客様から信頼され、
お客様に有益な商品・サービスが
提供できるよう全役職員が
「意をひとつ」にして
取り組んでいます。



富和信用金庫

〒780-0901 高知市上町3丁目14番1号
TEL 088-832-3261 FAX 088-822-7069

ドットコムバンク

検索



活動内容について

香南市の香我美町山北周辺で作られている温州みかんブランド「山北みかん」の推進活動と、山北みかん農家として独立就農するための実地栽培の研修を受けています。

普段は主に株式会社山北みらいで、実地栽培研修の日々を送っています。同社では、山北みかんの栽培、加工品製造販売をはじめ、耕作放棄地の借り受け、私たち地域おこし協力隊の受け入れ・研修を行っています。研修には、果樹の栽培はもちろん、収穫以降の選別や市場出荷に至るまでの年間作業のすべてが含まれており、独立に必要なノウハウのすべてを学ばせていただいています。

現場作業のほかにも県内外で行われるイベントに同行する機会もあり、東京で行われた販促イベントでは、生産者とファンの両方の目線で山北みかんの紹介と販売をさせていただくこともありました。

そのほかにも地域のみかん農家さんのお仕事を手伝わせていただき、栽培

技術を学ばせていただく機会も多く、そこから得られる地域住民の方々とのコミュニケーションも非常に大きいものです。任期3年目になる今年は、様々な縁があり産地の山北エリアに住居を構えることも出来ました。地域の方々の関わりも一層深まり、地区の清掃活動や地域の夏祭りなどに呼んでいただき、私自身も地域に受け入れていただけている安心感と、地域を担う責任感をひしひしと感じています。



山北のみかん畑風景。山北周辺は海沿いのみかん産地ではありませんが、少し山へ上がると畑からは土佐湾が望めます。ある農家さんのみかん畑は桂浜や浦戸大橋まで見渡せる絶景です。

香南市へ来たきっかけと今後について

母の出身が高知県であり、幼少期より頻繁に高知へ来る機会がありました。夏のまぶしい日差しや青々と元気に茂る草木や山々、よさこい祭りや日曜市、路面電車など、エネルギーで異国情緒漂うその風土や文化に惹かれ、いつかは高知に住みたいと考えるようになりました。大学時代からお付き合いをしていた今の妻にも「いつかは高知へ引っ越したい」と伝えてきており、下見

小島 漱一郎 (こじま そういちろう)



- 神奈川県出身28歳。東京にて列車内サービス業を経て2021年より香南市在住。
- 来年4月からの独立就農をめざして、香南市と包括連携協定を結ぶ地域密着型農業法人にて実地でみかん栽培を学ぶ。趣味は旅行やカフェ巡り、絵を描くことなど。

を兼ねた高知への旅行を何度かしたことで、妻にも高知を気に入ってもらうことが出来ました。

職種の選択にはとても悩みましたが、どうしても思いの一つとしてあった、“農業をすること”が頭から離れず、思い入れのある品目を作りたいと考えていた中で、頭に浮かんだのがかつて毎年高知の祖母から送られてくる山北みかんでした。山北みかんを作りたい、と決まったとき、高知移住フェアで地域おこし協力隊として山北みかん農家を目標せるという一文と出逢い、そこから産地でのPRイベントに参加しました。妻の後押しもあり、先輩協力隊や株式会社山北みらいの方とも話を交わすうちに、あっという間に応募をすることになり、ありがたく採用をいただきました。

現在は日々実地でみかん栽培をしながら、来年春からの独立就農に向けて準備中で、新規就農の補助金活用の手続きや、畑の確保に奔走しています。また、みかんの苗木を植える畑や、耕作放棄されてしまう温室キンカンのハウスなども確保しており、今後も引き続き独立後の畑の確保に努めていきます。



東京都のGAKUDAI MARCHEさんでの販促イベント。山北みかんは関東ではまだまだ知る人ぞ知るみかんですが、来場者の方からは「美味しい」の声がたくさん上がりました。

香南市で見つけたこじやんとえいところ!

山北の風景



香南市にはトリップアドバイザーで高評価を受けた、のいち動物公園や、お花見スポット西川花公園、キャンプや海水浴、SUPなどが楽しめるヤ・シバパークなどレジャースポットが数多く点在しますが、あえてここは身近な山北のみかん畑風景を挙げたいと思います。

早朝の山北は朝霧がかかり、日の出とともに瞬く間に山に消えてゆく様子は風情ある日本の風景を感じさせ、つい見とれてしまいます。山北エリアは主に北側の標高200～500m弱の石灰岩質の山々の中腹から麓にかけ、みかん畑が点在しています。水はけの良いミネラル豊富な地質がメリハリの効いた濃い味のみかんを作りあげると言われています。

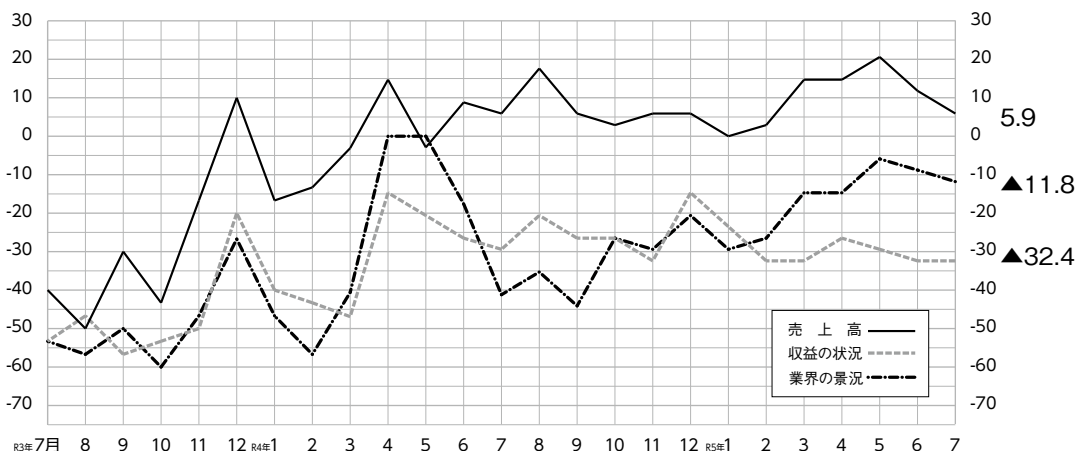


イラストは小島さん作



情報連絡員報告

DI(景気動向指数)



業界の状況

- ☀️ …好転
- ☀️☁️ …やや好転
- ☁️ …不変
- ☁️☔️ …やや悪化
- ☔️ …悪化

	食料品製造業（団地）	7月度商況は、昨年に比べやや好転。原材料・資材・エネルギーコストの上昇が止まらず、収益面では厳しい状況が続いており、食品産業全般での値上げが続いている。エネルギー、原材料等の高騰について、電気・重油・ガソリン類・ガス・資材・原料コストの上昇を価格転嫁する場合のコスト試算が非常に予測しづらい状況。
	コンクリート製品	前年度同月比124.3%。4月・5月の落ち込みから公共事業の発注により持ち直し傾向にある。セメント・鋼材等の原材料の高騰の影響がある。
	青果卸売業	果実は入荷の減少に単価アップが追いつかず若干の苦戦であったが、野菜は入荷増の単価アップとなり、販売高も好調となったと思われた。
	生鮮魚介卸売業	売上は上昇している。販売価格も上昇しているが利益増にはつながっていない。カツオ・マグロの入荷に左右されるので、順調な水揚げを期待している。新型コロナの影響は少なくなったように感じる。エネルギー、原材料等の高騰について、水道代・電気代・運賃等に影響がある。
	商店街（四万十市）	市民祭・土曜夜市などに地元の人達もかなり足を運んでくれた。久々のイベントに達成感もあり、組合同士の結束も実感できた。
	旅館・ホテル	全国旅行支援の延長・台湾チャーター便によるインバウンド客の増加等により、宿泊客は増加傾向。8月の繁忙期に期待する。宴会部門は、ここ数年宴会を控えていた顧客が数年ぶりに実施するなど復調の兆しが見えるが、コロナ前のレベルに回復するにはまだ時間を要する。
	一般乗用旅客自動車運送業	実働1日1車当たりの前年同月比運送収入:112.1%、輸送回数:108.2%、実働率は51.5%。1日当たりの収入は少しずつ増えているが、運転者がいないので全体的な収益はなかなか厳しい状況。実働率が回復しないと厳しいといっているが頑張っている。

	酒類製造業	前年比で増加が見られないのはやはりかなり厳しい状況である。新型コロナウイルスによって土佐の酒文化・血鉢料理・返杯・献杯等の自粛の影響が出ている。エネルギー、原材料価格の高騰については、主に電気料金・運送費の高騰の影響がある。
	帆布製品製造業	昨年度より帆布製品の大幅な値上げが、やっと販売価格に転嫁出来そうな感がある中で、小幅ではあるが、帆布製品・副資材等の相次ぐ高騰で非常に厳しい状況が長引きそうである。イベント関連事業は回復基調にあるが、新型コロナウイルスの影響で、販売事業は厳しい状況が続くと思われる。価格転嫁についても大変厳しい状況が続くと思われる。
	木製品素材生産業	事業着手の影響もあり入荷量は若干減少しているが、今後増加してくる見込み。また、虫害による影響（品質）はあまりない状況であるが、台風シーズン頃に心配される。丸太価格については、樹種により違いがあり、特にスギについては値下がりが続いている状況である。ヒノキはほぼ横ばい状態であるが、需要はある。各事業場では、電気料等の高騰が続いており、収益が減少。
	機械すきと紙製造業	会員企業の1社(大人用紙おむつ製造)が事業停止した。高知県内の製紙業界では大手で従業員は約100人、負債総額は約27億円。大手メーカーから受注減少に加え、原料のパルプやエネルギー価格の高騰を販売価格に転嫁できず経営が悪化し今回の事態に至った。原料価格(パルプ)は、昨年(2022年)と比較すると落ち着いてきたが、まだ高水準にあり、厳しい状況にあることに変わりない。
	手すき和紙製造業	人流・物流と少しずつ活発に動き始めたが、コロナ禍前の状態には戻っていない。需要が思うように伸びない状態が続いている。10月よりインボイス制度が導入になるので、今後も厳しい状況が続くと思われる。原材料等の高騰が酷いので、価格転嫁がやりづらい一面がある。
	生コンクリート製造業	7月度の全組合員の出荷量は、単月で対前年比96.0%、4月からの累計も96.0%で、前月より単月の出荷量が増加傾向であった。地域的には嶺北・高知市内の一部及び協組外が110%以上で増加しているが、その他の地区は対前年比70~95%程度で、減少傾向が続いている。

	刃物・金物類製造業	先月分の出荷予定品が当月に入り出荷することができ、昨年実績を大きく上回り、先月のマイナスを取り戻すことができた。しかし、付属品の入荷が遅れ気味で悩む結果となっている。材料・光熱費の値上がりは生産者にとって厳しい状況。
	船舶製造・修理業	中途採用を行い人員が数名増加した。(組合としては人手不足感はまだまだ高い)
	装飾品・同関連品製造業	7月度の取引額は前年同月比171%となり、コロナ禍前の水準に戻りつつある。新型コロナウイルスの基本的な感染対策の継続など未だ影響がある。
	各種商品卸売業(団地)	夏休みになり、外食・観光は動きが良くなってきたが、大きく好転という感じは無い。暑さと物価高・コロナの影響が大きいと感じる。景気回復は感じられない。原材料の高騰、電気代・油代値上げ等、経営を圧迫している。新型コロナウイルスの影響で販売難。エネルギー、原材料等の高騰で、コストアップ・価格転嫁が十分できないといった影響がある。
	各種商品小売業(土佐市)	7月も大きく変化は無し。コロナウイルスが終息すると人の動きが戻ると期待していたが、なかなか元に戻るところまでいかず、厳しい状態が続いている。
	中古自動車小売業	軽自動車・普通車ともに高年式車輛の販売台数・注文・問い合わせ件数が伸びている。市場相場の安定と流通量が増えたことにより、仕入しやすく販売環境が整いつつあるが、市場相場が上昇することも考えられるので、在庫確保を強化している。
	商店街(高知市)	中央公園地下駐車場 売上前年比:93.5%、利用台数前年比:96.3%。土曜夜市は5日とも天候に恵まれ、昨年より1割程度多い来街者で賑わいをみせた。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比148%、全旅クーポンを加味して125%。令和元年度、7月末迄総売上対比では、84%であった。秋の旅行シーズン売上に期待している。
	情報サービス業	例年、売上が落ちる時期ではあるが、今年は昨年度比でもマイナスとなっており、これから年末、年度末への巻き返しが必要。細かい案件や相談はあるが、総じてコストをかけられないというものが多く、見積段階で断られるものが多い。
	一般土木建築工事業	令和5年7月分の公共土木生コン出荷量は、前月比93.9%、前年同月比96.5%。7月の工事請負金額は前年当月比で114.9%。令和5年7月末時点の前年対比請負金額は、国:92.5%、高知県:113.3%、市町村:93.5%となっている。工事請負金額は前年対比で増加しているが、生コン出荷量は、減少している。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事については継続している。生コンクリート販売単価については、今後も生産原価上昇が予想され、値上げ交渉が必要となることが予想され、共販率向上に向けた取組を当組合としても行っていく。セメント・原材料・骨材・燃料費・人件費等高騰により生コン販売価格引き上げを昨年から2度にわたって実施し、m当たり4千円から5千円上昇。高知市を除く地域においてはm当たり積算単価も4千円引き上げとなっているが、高知市は初回値上げ分の3千円引き上げに止まっており、上昇分をすべて転嫁できているとは言えない。

	一般製材業	国産材の荷動きは鈍化するとの見方が多かった。
	建具製造業	公共工事・一般住宅共に仕事量が少ない。夏休みの学校の仕事も少ない。商品を取り寄せた時の運賃が高くなっている。
	印刷業	先月に引き続き売上同等、設備操業度低下と低迷。一部県外需要で明るさも見られるが、県内需要、官公需及び一般印刷物共に良くない。又、原材料の高騰が販売価格に十分に反映できていない厳しい経営状況が継続している。
	金属製品製造業(団地)	原材料やエネルギー価格に連動して販売価格は上昇しているが、一時的な取引減などにより売上が伸びなかったことから、収益は横ばいから減少の推移となっている。
	電気機械器具小売業	7月は全商品平均で前年比98%。特に悪かったのが大型テレビで、前年比76%。
	ガソリンスタンド	政府の補助金は7月末で1L当たり8円40銭が支給されている。この補助金の縮小により7月の高知の市況は3円の値上げとなった。原油価格にもよるが、9月末までには補助金は0になる予定なので、ガソリン価格も毎週徐々に値上がりの予定である。市況にどう影響するかが注目される。新型コロナの影響により、販売数量が元には戻らない。今後、EVに移行するか注視。エネルギー、原材料等の高騰について、毎週のガソリン値上げにより転嫁が追い付かない。
	商店街(安芸市)	商い甲子園の申込があり、今年は12校18チームがエントリーした。県外からは愛媛・岡山・広島・三重からの参加もあり、7月14日に地元安芸高校の協力のもと店舗抽選会を行い、大会当日の店舗位置が決まった。今年のテーマは「あきない復活」とし、新型コロナウイルス感染症の影響で3年連続中止となった商い甲子園だが、4年ぶりの開催に向けて実行委員一同意気込んでいる。大会は8月19日(土)安芸本町商店街の街路にて実施。エネルギー、原材料の高騰について、価格転嫁を行ったところや検討中の店舗もあるが、値上げによる購買数の減少など影響があり得る。
	飲食店	先月と変わらず、前年同月比から売上は1~2割増えているが、光熱費や仕入れ価格が高騰しているため収益は悪化。コロナ禍以前との売上比較は8~9割。良くも悪くも集客にメリハリがなく、売上高の回復は頭打ちの感がある。新型コロナウイルスの影響で売り上げは低下。電気・ガス等のエネルギー、大手メーカーの原材料等の大幅な値上げに対し、顧客離れや売上の低下等の懸念から業界の価格転嫁力は低い。
	普通洗濯業	売上は全体として横ばい。単価アップしたが客数は減少傾向。二極化傾向が進み、物価高騰による消費者の節約志向は高まっている。新型コロナにより、リモートワーク・冠婚葬祭需要減少は続くが、宿泊宴会需要が回復傾向にある。エネルギー・石油関連原材料価格は上昇を続けており、価格転嫁は都度都度には行えない。
	電気工事業	組合員の施工する電力引込線工事業量は、前年同月比64.1%となった。高知中央地区が前年同月比43.7%と大幅に減少したことが影響している。
	一般貨物自動車運送業	荷動きは前月と変わらず低迷しており、組合事業も昨年比で微減となった。7月も燃料価格は4円近くの値上となり、政府補助金の先細り・原油高騰・円安と8月も大幅値上がりが予定されている。新型コロナの影響により、荷物量が回復しきっていない。また、燃料高騰による運賃転嫁がなかなか進まない。

経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障

団体扱生命保険

団体扱* (月払) の場合、
一般扱 (口座振替月払等) で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



- * 団体扱とは、高知県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。
- ※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。
- ※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」 「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」 「ご契約のしおりー約款」 および高知県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 高知営業部

〒780-0053 高知県高知市駅前町 1-8 第7駅前観光ビル 2F TEL: 088-882-3402
<https://www.taiju-life.co.jp/>

大樹-KB-2019-1064 (損保) A-2021-101 (2021.4)
R-2021-1001 (2021.4)

制作
発行



つな
人を継ぎ、組織を育む
高知県中小企業団体中央会

※組合等活性化情報誌「へんしも情報」は、環境に配慮した植物性インキを使用しております。

〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館 4階
TEL 088-845-8870 FAX 088-845-2434
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp

